



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	31,338.15	-46.40	-0.15	0.77	-13.76	36,338.30
NASDAQ	11,635.31	13.96	0.12	4.56	-25.63	15,644.97
日経225	26,517.19	26.66	0.10	2.24	-7.90	28,791.71
上海総合	3,356.08	-8.32	-0.25	-0.93	-7.79	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,428.78	-14.69	-0.33	-0.85	-10.36	4,940.37
ハンセン	21,725.78	82.20	0.38	-0.61	-7.15	23,397.67
中国企業	7,551.70	12.72	0.17	-1.50	-8.31	8,236.35

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.6%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は0.9%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.6%安と3週ぶりに反落。中国での新型コロナ感染再拡大を受けて行動制限強化への警戒感が高まったことに加え、欧米の景気減速への懸念が相場の重しとなった。半面、中国当局の景気刺激策への期待が相場を支え、週後半は小幅に続伸した。本土市場では上海総合指数が0.9%安と6週ぶりに反落。対中制裁関税の一部撤廃への期待や自動車購入促進策の発表などが好感された一方、新型コロナの感染が再拡大するなか、上海の大規模PCR検査の実施で再び都市封鎖への警戒感が高まった。

### 今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、15日発表の中国GDPに注目集まる

香港市場は一進一退の展開が予想される。注目は15日に発表される中国の4-6月期GDP成長率。予想を上回る強い結果なら景気の先行き不安が後退し、上昇基調が強まる可能性もある。ただ、足元で新型コロナの感染が拡大基調にあることは懸念材料として意識されやすく、マカオのビジネス活動の1週間停止も香港など周辺への波及などが警戒されそうだ。本土市場も一進一退の展開か。GDPの発表に注目が集まるが、中国政府による景気刺激策や米国の対中制裁関税撤廃への期待などが相場の下支え要因となりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術 (02269)	80.00	11.42
2 石業集団 (01093)	8.47	8.73
3 創科実業 (00669)	88.95	8.67
4 アリババ集団 (09988)	121.00	8.13
5 東方海外 (00316)	223.20	7.31
6 中国生物製薬 (01177)	5.26	5.84
7 中国中信 (00267)	8.29	4.28
8 安踏体育用品 (02020)	99.15	2.85
9 阿里健康 (00241)	5.53	2.41
10 BYD (01211)	320.80	2.17

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	116.30	-9.07
2 中国銀行 (03988)	2.87	-8.31
3 中国工商银行 (01398)	4.28	-8.15
4 申洲国際集団 (02313)	87.30	-8.15
5 中国人寿保険 (02628)	12.62	-7.61
6 海底撈国際 (06862)	16.98	-7.21
7 碧桂園 (02007)	4.51	-7.20
8 華潤ビール (00291)	54.30	-7.18
9 招商銀行 (03968)	48.75	-7.14
10 碧桂園服務 (06098)	32.65	-6.58

## ▼今週の主なイベント

- 7月13日(水)
- 【中国】貿易統計(6月)
- 7月15日(金)
- 【中国】GDP(4-6月)、小売売上高、鉱工業生産(6月)、固定資産投資(1-6月)

### ▼今週の期待材料

- ◆15日に中国国家统计局が4-6月期GDPを発表、市場予想を上回る強い結果なら景気の先行き不安後退へ
- ◆米国のインフレ対応で対中制裁関税の解除を検討中、制裁解除への期待が相場の押し上げ要因に
- ◆李克強首相が景気回復に向けて「さらなる努力が必要」と発言、景気刺激策を継続していく方針を強調

### ▼今週の懸念材料

- ◆中国の新型コロナ新規感染者が連日400人台で高止まり、行動規制強化への警戒感が続く公算
- ◆マカオで新型コロナの感染が拡大、カジノを含むほぼすべてのビジネス活動を11日から1週間停止
- ◆中国の6月のCPI上昇率は2.5%と予想上回る強い結果に、1年11カ月ぶり高水準で金融緩和期待が後退

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 李克強首相が福建省を視察、同社訪問で従業員を激励
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 22年6月中間決算は生産拡大で91%増益の見通し
- ☆ ビリビリ (09626) : 融創中国に代わって11日から中国企業指数構成銘柄に追加採用
- ★ 銀河娛樂 (00027) : マカオの全カジノが1週間営業停止、業績に打撃
- ★ テンセント (00700) : 独禁法違反で罰金処分、関連案件は全28件中12件
- ★ SMIC (00981) : 戦略投資家の保有のA株0.85%、18日にロックアップ解除
- ★ 中遠海運能源運輸 (01138) : 22年6月中間決算は大幅減益の見通し
- ★ サンズ・チャイナ (01928) : マカオの全カジノが1週間営業停止、業績に打撃
- ★ 舜宇光学科技 (02382) : 6月の携帯端末用レンズセット出荷量が16%減少
- ★ 広州富力地産 (02777) : 6月の不動産販売額が63%減少、販売面積は69%減

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。